

NEWS RELEASE

No. 17-10

2017年11月7日

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

2016年度本科講座の成績優秀者を表彰

2016年度本科講座（5クラス編成）の修了認定を行い、各クラスの成績上位10%以内の56名を成績優秀者として表彰した（成績優秀者は後掲）。本講座終了時の登録者数は713名、修了者数は571名で修了率は80.1%であった。

さらに成績優秀者のうち各クラス上位3名（計15名）には「本科特別成績優秀賞」を授与することとしており、来たる2018年1月15日（月）に東京・御茶ノ水の山の上ホテルに於いて表彰式とともに昼食会・情報交換会を開催する。

本科講座は、損害保険の基本的・体系的な知識の習得を目的としており、通信科目8科目とスクーリングで構成されている。

最終カリキュラムであるスクーリングは、今年7月～9月に東京の損保会館にて、各クラス2日半の日程で実施され、全国から計707名が参加した。スクーリング試験科目の講義と試験の他に、特別講義「コンプライアンス」（中央大学法科大学院・野村修也教授）、「グローバルな時代と日本経済」（慶應義塾大学大学院商学研究科・柏木茂雄教授）、「社会経済構造の変化と生産性改革」（法政大学人間環境学部・長谷川直哉教授）、「業界を取り巻く環境変化と損保業の今後」（東京理科大学経営学部・柳瀬典由准教授）やワークショップを実施した。ワークショップは、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科の講師陣を招き、「システム思考×デザイン思考でイノベティブに考える」をテーマに約4時間15分におたる受講生同士のグループワークを通して闊達な討議や意見交換を行った。

近年、受講生は女性の活躍推進の高まりとともに、本科講座でも女性の受講が増えており、2016年度は受講生全体の3割を占め（対前年比約5%増）、女性の成績優秀者が増加した。（2015年度5名／成績優秀者に占める割合11% → 2016年度13名／同23%）。

このように受講生も多様化する中、2016年度受講生より以下のような感想が寄せられている。

- ・総論から始まり、市場論、業法・契約法…という学習順は、学習を進めていく上で、体系的に理解が深まるようしっかり練られていると感じた。
- ・損害保険の発足からあらゆる歴史を学ぶ非常に良い機会で、自分が携わる職業の歴史を知ることが今後の業務においても非常に重要であると感じた。受講によりあらゆることを学び自らの業務に活かせると非常にやりがいを感じる。日々の業務で忙しいものの、レポート作成に集中し始めると意外にも没頭してしまうもので、成績優秀者になるという目標を掲げて取り組むことで長期的にモチベーションを保つことができた。
- ・損保業界に従事する者として最低限必要な知見を身に付けることができたと感じている。今後は自身の所属する部署での専門性を高めていくことが求められると思うが、本講座で学習した内容はあらゆる面においてそのサポートになるものと確信している。
- ・学習を進める上で、科目毎に自分のノートを作成し、その際、課題への回答を意識して、反対説などにも念頭に自分の主張理由を明確にしてから結論を導くように心掛けた。この作業は今後、転勤や異動等による様々な実務において、私自身の助けになると思っている。
- ・スクーリングは、実際に他社社員の方々と情報交換する良い機会で、このように多くの会社の方々と交流する機会は普段ないため、良い刺激を受けることができた。これは、Web配信講義等だけでは味わえない良さだと思うので、スクーリングは今後も続けてほしい。
- ・最初から「優秀成績をとりたい」という一心で受講を決意したが、勉強のペースや文章の書き方など慣れるまでには時間が掛かった。地域型社員で本科講座を受講することには勇気が要ったが、損害保険会社の一社員として必要な知識を身につけるだけでなく、物事を計画的に進める段取り力など、働く上でのスキルも身につくので、是非挑戦していただきたい。
- ・レポートやテストが絶えずあり厳しいと感じることもあったが、専門的な内容を集中して勉強できる時間が限られているため、所属会社よりこのような機会を提供してもらえたことに感謝している。完走できたことも自信となった。
- ・上司にすすめられて受講したが、全国型社員は全員 2 年目に受講しているということを知り初めて知った。損害保険の歴史からいろいろな種目、法律など多岐にわたって学習できたためとてもよかったと思う。
- ・入社 20 年目の受講で苦労したが、終えてみると達成感や充実感で満足している。損害保険会社に入社したもの、きちんと損害保険を学んだことがなく、一度腰を据えて勉強したいと思ったのが受講のきっかけだった。実務等でいろいろ経験した今だからこそ、より深く理解でき身についた部分がたくさんあった。

本科講座の修了およびその学習効果は、本人の努力もさることながら受講生を送り出す職場の上司やメンバーが受講に関心を持ち、励ますことが大切であり、損保総研から受講各社にもこの重要性を継続的に伝えて受講環境の改善を働きかけている。

損保総研は、本科講座がより充実した内容をご提供できるように受講各社人事とも情報交換を行い、学習効果の向上に努めていく。

【2016年度本科講座の受講スケジュールおよび受講科目】

クラス	通信科目受講期間	スクーリング
A	2016年7月～2017年4月	2017年7月5日～7日
B	2016年7月～2017年4月	2017年7月19日～21日
C	2016年8月～2017年5月	2017年8月23日～25日
D	2016年8月～2017年5月	2017年9月6日～8日
E	2016年9月～2017年6月	2017年9月20日～22日

通信科目：保険総論、損害保険市場論、保険契約法、保険業法、リスクマネジメント、再保険論、事故対応実務の基礎、海上保険論

スクーリング試験科目：金融の基礎知識、火災保険論、自動車保険論、新種保険論、損害保険会計

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町2-9
公益財団法人 損害保険事業総合研究所
教育研修部 田中 TEL 03-3255-5512

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。